令和８年度 学校経営の改革方針

学校名	津市立西が丘小学校	校長名	田　中　英
児童数７１９人	学級数２７学級		教職員数３１人

１ めざす学校像

学校教育目標　「心やさしく　創造力豊かな子どもの育成」
～「月曜日が待ち遠しい学校」をめざして～

学校の姿
子どもが安心して学べる学校
保護者・地域と連携する学校
職員がやりがいを感じる学校

子どもの姿
自ら進んで学ぶ子
自分も人も大切にする子
健康で粘り強く取り組む子

教師の姿
信頼される教師
学び続ける教師
“変わる”教師

２ 現状と課題

〇児童は、知的好奇心が旺盛で人とのコミュニケーション力に優れた子もいる一方、学習課題のある子や不登校、いじめなどの今日的な教育課題を併せ持つ
〇校区内に３校の県立高校の他、多くの県立施設が立地する教育環境に恵まれた地域であり、連携した教育活動を行うことができる
〇教師自らが変化を前向きに受け止め、個人の能力や興味関心に沿った職務や研修により意欲の向上を目指す必要がある

３ 重点目標

◎　子どもが変わっていく授業の改善・充実
◎　自分の思いを出し合える「仲間づくり」
◎　学校と地域がともに進める教育の推進
◎　働きがいのある職場環境づくり

４ 具体的な行動計画

子どもが変わっていく授業の充実

・わくわく、ドキドキする授業を中心とした授業展開の工夫や授業のしかけ等、指導技術の向上
・「誰一人取り残さない」個別最適・協働的な学びの推進
・１人1台端末を効果的に活用した探究学習の推進

学校と地域がともに進める教育の推進

・学校運営協議会と進める学校づくり
・高校３校と連携した取組の充実
・安全安心サポーター・民生児童委員・各自治会との連携強化による児童の見守り活動の充実
・図書館ボランティア（とぼら）との連携強化による読書活動の推進

自分の思いを出し合える「仲間づくり」

・多様な子どもたち全てを認め合える集団づくりの推進
・人と関わる力を育む異年齢集団活動の充実
・人のために自分を活かす自治的な活動と子どもの発想を活かした特別活動の推進

働きがいのある職場環境づくり

・互いにリスペクトしあい、それぞれの役割と責任を自覚が生み出す職員一人ひとりのウェルビーイング（身体的・精神的に満たされた状態）の推進
・一人当たりの月平均時間外労働時間 30 時間以上,年 360 時間以上の教職員数０人
・一人当たりの年間休暇取得日数前年比３日増
・毎週木曜日の定時退校日実施率８割及び月１回のスーパー定時退校日の完全実施